

NEW HOUSING JOURNAL

VOL49

12
December

2012

新

住宅

ジャーナル

勉強会で今話題のテーマは
職人不足の今こそ技能五輪



イルコルティエーはイタリア語で「中庭」
震災時に壊れた収納建具を入れ替えた(左)
書道家のお部屋を拝見。「呼吸する家」のコンセプトにふさわしい住まい(左)

ペットと暮らせる賃貸マンション 築5年目の入れ替えリフォーム



浴室はタイル貼りにこだわった 5年後の美観も良好



1階主寝室(13帖) 事務所兼自宅としても使える

築5年目の賃貸マンションのリフォーム現場を訪問した。品川区中延の商店街にほど近い静かな住宅地にある「イル・コルティエー」。1階の1LDK(約20坪)と3階の2LDK(約19坪)の2部屋が空いて、秋にリフォーム工事を行ったので大家さんに案内してもらった。

同物件は「呼吸する家」をコンセプトとした外断熱工法(壁厚200mm)の賃貸マンション。作家・村上春樹が学生時代を過ごした和敬塾や旧細川公爵邸の改修工事の設計で知られる袴田喜夫氏の作品である。杉板型枠でとったコンクリート打ち放しの手すり、イタリア直輸入の外装タイル、木製の自動玄関ドア、今では希少な大理石の現場研ぎテラゾーのエントランスなど設計者のこだわりが感じられる。中庭、テラス、屋上家庭菜園、バリアフリーのゆつたりした間取りが特色となっている。

5年経過後のリフォームは一部のシミヌキだけで済んだ。フローリングもあと10年持ちそうだ。バスルームはあえてタイルにこだわった。クリーニングしたタイルは新築同然の輝き。ユニットバスに仕上がったことで高級感そのまま保たれた。

マルシン建材が創業50周年 記念式典・祝賀会を開催

建材店のボランタリーチェーンとして知られるマルシン建材（東京都江東区東陽）は、創立50周年記念式典・祝賀会を10月29日に東京會館ロースルームにて開催。メーカー、商社、販売店の関係者など約200名が出席した。記念式典では、今年3月の株主総会において第6代目の新社長に就任した梶本芳則氏（株式会社東京新建材社代表取締役）がスピーチ。昭和37年の創業から現在までの経緯について語



梶本芳則 代表取締役社長
(株式会社東京新建材社 代表取締役)

り、世の中の大きな変革の動きの中で、無理のない堅実な経営を進め、市場ニーズに迅速に対応し販売の協業体制を確立。会員会社と協力して築き上げてきた信頼・信用のおかげで今日まで良好な取引を続けてきたことについて語った。

建材メーカーを代表して、太田勉氏（パナソニックエコソリューションズ社 常務住建営業統括部 統括部長）、大道正人氏（永大産業 代表取締役 兼 執行役員社長） 建販商社を代表して柴田敏晶氏（伊藤忠建材 代表取締役社長）、メンバー店を代表して池田昭義氏（コバヤシ 代表取締役）が祝辞を述べ、東京オリピックの2年前にあたる昭和37年（1962年）にボランタリーチェーン型のメンバー制の会社を築いた先見性について賞賛。関東一帯で展開する会員企業48社が団結・協力。売上は創業当初の5000万円から現在は60億円にまで成長。50年にわ



代表者10名による盛大な鏡びらき



木場木遣保存会（東京都無形民俗文化財）による木遣歌

たつて無借金経営を続けてきた業績の素晴らしさを称えた。

各代表者10名で鏡開きが執り行われ、乾杯の発声は、吉野石膏 代表取締役社長の須藤永一郎氏が行った。催し物としては、記念式典の入場式で木場木遣保存会（東京都無形民俗文化財）による木遣歌が披露された。

祝賀会では、コース料理、宴たけなわでの特設トーク&歌謡ショーを経て、中締めとしてマルシン建材 代表取締役副社長 戌亥友久氏による三本締めで締めくくった。業界関係者にとって創立50周年の晴れの場を祝い、明日への英気を養う盛大な式典・祝賀会となった。